



会報

WEEKLY REPORT

世界に希望を生み出そう

2023-24 R.I.会長

ゴードン.R. マッキナリー

第2500地区第6分区帯広北ロータリークラブ

会長/石岡 幸雄

副会長/萩原 敬一郎

幹事/南出 雅樹

[四つのテスト]1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第3107回 例会報告

2024.2.16

●例会日/金曜日 (12:30~13:30)
●例会場/ホテル日航ノースランド帯広
●事務局/帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F
TEL 0155-25-7347

■開会宣言

■点 鐘

■ロータリーソング (奉仕の理想)

■会 食

■会長挨拶

石岡 幸雄 会長

■会務報告

南出 雅樹 幹事

帯広北RC、2月23日 (金) の例会は、祝日のため休会と致します。

帯広北RC、3月15日 (金) の例会は、休会と致します。

RI第2500地区第6分区【IM】開催のご案内

日時 3月30日 (土)

12:30~13:00 登録受付

13:00~13:40 開会式

13:40~15:10 講演:クラブ発表Part1

15:20~16:50 講演:クラブ発表Part2

17:00~17:20 閉会式

17:40~19:10 懇親会

場所 ホテル日航ノースランド帯広

※尚、帯広北RC、3月29日 (金) の繰下げ例会と致します。

■プログラム

《創立記念夜間例会》

【会員卓話】

松原 光一 会員

みなさんこんばんは

本日、卓話する松原です。よろしくお願ひします。

創立例会時の話は、古い人がやるものと思っていたのですが、自分もすっかり古株になってしまったということなんでしょうね？

今日をご存知の方もいらっしゃると思いますが、創立記念例会ですので、改めて帯広北ロータリークラブの誕生と少しだけ昔の話をさせていただきます。よろしくお願ひします。

みなさんご存知の通り118年前の1905年、明治38年2月23日アメリカのシカゴで4人の若者によりロータリークラブが始まります。

ここからは日本の年号の方がピンくるとお願ひしますので、年号のみにします。アメリカでのロータリークラブ誕生から15年後の大正9年10月、日本初のロータリークラブ、東京ロータリークラブが誕生します。28年後の昭和7年12月、北海道で初の札幌ロータリークラブが創立。その3年後の昭和10年、十勝に帯広ロータリークラブが創立されます。その後も含め、日本には48のロータリークラブが誕生します。しかし、昭和15年、戦時体制のもと、日本のロータリークラブ48クラブは、国際ロータリーを脱退しすべて解散します。戦争も終わり解散から9年後の昭和24年3月日本ロータリーが国際ロータリーに復活し、昭和25年に

は、十勝でも、帯広ロータリークラブが再創立しました。その後、昭和35年を目標に帯広市において、帯広クラブに続く新クラブ設立との気運が盛り上がり帯広クラブが、昭和33年10月29日、第1回クラブ設立準備小委員会を発足し10名の準備委員で活動を開始。翌年昭和34年1月13日RI本部から地域分割の許可があり、地域境界の表示を当時の帯広クラブの水野会長と新クラブの中林会長候補の間で覚書を交わし確認をしました。

余談ですが、当時のロータリークラブは、クラブ事に地域境界、いわゆるテリトリーがあり、決められた地域内ではしか会員を勧誘できませんでした。この時 帯広、十勝は、帯広クラブしかありませんでしたので、地域境界はありませんでしたが、この時点から帯広の地域が分割されていく事になります。

もちろん当時の会員は、1職業1社の時代です。今は、地域境界が撤廃され、基本どの地域でも会員を勧誘できます。が、一応常識の一線はあるような気がします。また、1職業1社も緩和され1つの職業分類でも、限度はまだありますが、多数の会員が入れるようになっております。戻ります。

同年1月21日 10回目のクラブ設立準備小委員会で、新クラブ創立総会をロータリークラブの誕生したRI創立記念日の2月23日と決定。1月24日、新クラブのチャーターメンバー (創立メンバー) を内定、帯広クラブより8名が移籍。ちなみに、牛島食品工業社長牛島さん、小川銘醸社長小川さん、千秋庵 (六花亭) 社長小田さん、宮坂建設社長河西さん、富士銀行帯広支社長関さん、中林病院院長中林さん、十勝毎日新聞社長林さん、三井金物店社長三井さんの8名となります。他に、新会員16名、この時の新会員の中には、北クラブ創立から16年後の昭和50年に北クラブで初めてのガバナーになる、佐直庄太郎さんも、含んでおります。の合計24名のチャーターメンバー。

時のガバナーは、函館ロータリータークラブの伊部政次郎ガバナー。この時代北海道は、350地区という地区ナンバーで、1まとまりで分かれていませんので、函館から出たガバナーが北海道地区のガバナーという事になります。昭和45年に北海道地区は現在の2つに分かれております。戻ります。

新クラブを設立するには、ガバナー特別代表なる役職も必要らしく、帯広クラブの山崎義平さんが選任され、2月1日に伊部ガバナーから山崎ガバナー特別代表に新クラブ設立手続きの依頼書が届き、山崎特別代表が2月4日の帯広クラブでの定期例会で、新ロータリークラブについて、報告をしました。



新クラブの名称は「帯広北ロータークラブ」事務所および例会場は富士銀行（現在名みずほ銀行）帯広支店大通南9丁目 現在は十勝信用組合が入っている建物で沖銃砲火薬店、沖商店の南側ですね。会員数は24名。定時例会は毎週金曜日の12：30～13：30に行う。新クラブの第1回例会は、2月27日に開催するなどを報告。昭和34年2月23日帯広北ロータークラブの設立総会を富士銀行帯広支店2階会議室で開催。チャーターメンバー 24名、帯広ロータークラブから40名のビジターが参加。ここに「帯広北ロータークラブ」が誕生しました。初代会長は、中林重美氏。副会長は河西十二郎氏、幹事は小田豊四郎氏。創立から3年間はこのメンバーで運営されておりました。余談ですが、私が入会した平成12年には、チャーターメンバーの小田豊四郎さんがまだ在籍されていました。豊四郎さんの米寿のお祝いの時に例会に奥様といらっしゃいました。当時の例会場は帯広グランドホテル、お見かけしたのはその1度だけですが、一言もお話できなかったことを鮮明に覚えております。

例会場に関しましては、富士銀行2階会議室から昭和42年に帯広ステーションホテルに、昭和48年帯広グランドホテル、平成16年に現在のノースランドと4回変わっています。

2月27日金曜日、12：30より帯広北ロータークラブの第1回例会が開催、第1回目の卓話は山崎ガバナー特別代表の「ロータークラブの概要」だったそうです。

4月23日、伊部ガバナーより4月16日付けで帯広北ロータークラブのRI加盟認証の電報通知があった旨通知があり、晴れて帯広北ロータークラブが国際ローターに認証されました。アメリカでのロータークラブ誕生から半世紀、54年後になります。日本での認証順位は289番目、今で言う2500地区では13番目となります。

5月29日坂本直行氏デザインによる初代のバナーが完成。現在は5代目のバナーになります。

6月17日帯広北ロータークラブ認証状伝達式（チャーターナイト）を午前11時より帯広畜産大学体育館を会場に、登録料1人3,000円で開催されました。当時の物価で3,000円はなかなかですよ？来賓14名、ビジターは、広島からなど32名、帯広ロータークラブ42名、夫人17名、帯広北クラブ24名、夫人19名、合計148名。伊部ガバナーから中林会長に認証状（チャーター）の伝達がされました。

昭和34年2月27日金曜日、12：30より帯広北ロータークラブの第1回例会が開催されてから、今年で65年目、本日で、3107回目の例会になります。3107回の例会の中、昭和36年から39年まで3年間例会に欠席者が一人もいなかった事で地区で表彰されています。多分30名位の会員数だと思いますが、会員数が少なかったとはいえ、今では考えられない事だと思います。それを3年間もです。当時の会員達は、相当プレッシャーに感じていたと思います。絶対に休んではいけないので、メンバーが入院した時も休ん

ではいかんということで、病院に頼んだそうです。「わかった、病院の裏口から出入りして貰えばいい」と院長先生から許しを得て例会に出席していたという逸話もあったそうです。

また、昭和53年から59年まで6年間出席率100%を続けたそうです。こちらは、メイクアップを含みます。メイクアップカードをやりくりした事が想像できます。現在の出席率は、平均約60%弱、帯広5クラブの中で最低となっております。

当時は、「食事は、席が空いているからと簡単に座るな、先輩が来てここへ、と言われたら座れ！」となかなか入場できなかったり。定款上、連続して4回欠席すると自動的に退会なんです。2回連続欠席したら出席委員長から「退会ですよ」と電話がきたそうです。今でも定款は変わってません。いっちゃあ！なんです、いまでは、ほとんど会費要員として黙認しているのが、実状です。

また、例会ではネクタイは、きちっと！バッチを忘れると入室できない、くわえタバコはダメ、長靴はダメ、入室前に服装検査があったそうです。私が入った23年前でも、バッチは絶対で、忘れると罰金1000円を取られていました。当時の事務員の星屋さんがバッチをストックしてくれていて忘れてたら、1000円出して買ってつけて入場しました。結局忘れてたら、1000円は、とんでいくんですが、その頃は、ローターバッチを一番持っていた時だと思います。今は、かつての厳しさの様では、会員も増えないし、やめてしまう人が増えてしまうと思います。

ですが、古株の私から1つだけ。例会時にはローターバッチは、必ずつけていただきたいと思います。私が入会した頃は、ローターバッチは、例会時にかぎらず、家を出る時は必ずつけなさいと言われてました。私も今は、外出時にはつけてませんし、そこまではいいませんが、ノーネクタイでも長靴を履いて来ても構いませんし、作業服で来られたとしても、ローターバッチは、つけていただきたいと思います。いくら時代が変わっても、これだけは継承して行きたいと思います。かつてのように、罰金制度はありませんが、みなさんよろしくお願いします。

今回の話は、北クラブの50周年の記念誌を参考にして大半を作りました。その記念誌の対談の中で、先輩達が「ローターとは」に答えています。紹介します。「ローターとは人と人との付き合い」「情けをもってことわりを説く」「親睦と結束と社会に対する奉仕」「人生の糧と感ずる」「知り合いを増やし、いろいろ教えられる場」などです。

みなさんにとっての「ローターとは」を探しながら、例会に参加出席してください。

以上、ご静聴ありがとうございました。

■次週のプログラム予定

「新入会員卓話」

■閉会宣言

■点鐘

石岡 幸雄 会長

例会案内

〈月曜日〉広尾RC:日高信金広尾支店 〈水曜日〉帯広RC:ホテル日航ノースランド 〈木曜日〉足寄RC:足寄銀河ホール21
帯広南RC:北海道ホテル 上士幌RC:川村福祉会館 清水RC:清水町中央公民館
〈火曜日〉芽室RC:めむるーどセミナー 音更RC:ハビオ木野 帯広西RC:北海道ホテル
帯広東RC:ホテル日航ノースランド

■出席報告/長谷川道正 出席委員長

会員数	計算に用いる 会員数	ホームクラブ 出席数	メイクアップ	欠席	出席率